

確定拠出年金 連絡会議	第 8 回 平成16年1月23日	資料 8
----------------	---------------------	------

平成15年度実態アンケート調査について

1. 趣旨

企業型年金導入企業とその加入者、個人型年金加入者に対し調査を実施し、企業の制度導入に当たっての考え方、運用方法及び加入者の考え方、傾向等を把握し、今後の制度の普及等に役立てる。

2. 調査状況

① 調査対象者

・企業型年金

承認規約代表事業所及びその加入者（平成15年7月末現在）

・個人型年金

個人型年金加入者 1,000人（平成15年8月末現在）

個人型年金運用指図者 500人（平成15年8月末現在）

② 調査時期

平成15年10月下旬～11月下旬

③ 調査件数

・企業型年金

調査対象企業数 455件

調査対象個人数 1,013人

・個人型年金

調査対象個人数 1,500人

④ 回収率

・企業型年金

回収企業数 151件（33.2%）

回収個人数 327人（32.3%）

・個人型年金

回収個人数 356人（23.7%）

投資教育事例集の作成について

1. 趣旨

- 確定拠出年金制度の適切な運営を図る上で、投資教育は重要な柱であり、確定拠出年金実施企業、運営管理機関等では様々な取り組みが行われている。

- こうしたノウハウの集積を図ることにより、投資教育の取組方法への参考とするとともに、今後の課題についても明らかにするため、確定拠出年金連絡会議参加メンバーの協力を得て、確定拠出年金実施企業等における投資教育の事例集を作成することとしたい。

2. 進め方

- ①事例集作成に係る項目の検討（別紙）

- ②確定拠出年金のアンケート調査（15年度）をもとに、投資教育の実施状況のまとめ

- ③確定拠出年金連絡会議参加企業等における投資教育の状況の調査

- ④これらをもとにした投資教育事例集の作成

(別紙)

投資教育の現状と課題について

1. 投資教育の現状

○アンケート調査から見た実情

○投資教育の取組事例（確定拠出年金連絡会議参加企業での取組状況等）

2. 課題

○現状についての評価

○取組事例から見た課題

○今後の取組